



GOOD
DESIGN
AWARD
2015

2015年度グッドデザイン賞3部門受賞 「クレヴィア小竹向原」「わたしの森 プロジェクト」 「官民協働によるコミュニティガーデン」～9年連続受賞～

伊藤忠都市開発株式会社(東京都港区、代表取締役社長 寺坂 晴男)は、2015年度グッドデザイン賞(公益財団法人日本デザイン振興会主催)を、下記の3プロジェクトで受賞致しました。
今般の受賞により、9年連続の受賞となります。

【2015年度グッドデザイン賞 受賞プロジェクト・概要】

①クレヴィア小竹向原

緑を中心に街・地域社会・入居者を繋げるシンボルレジデンス

②わたしの森 プロジェクト

「クレヴィア豊田多摩平の森RESIDENCE」における
植樹や野菜の育成等“緑”に触れる交流を通じた継続的なコミュニティの形成

③ 官民協働によるコミュニティガーデン

「パークフロントテラス亀戸」「クレヴィア南砂」
官民協働及び地域住民によるコミュニティガーデン活動



コミュニティガーデン活動



クレヴィア小竹向原



クレヴィア豊田多摩平の森 RESIDENCE

弊社『グッドデザイン賞受賞』紹介ウェブページ
<http://www.ipd.co.jp/gd/>

弊社は、今後も各プロジェクトの取り組みにおいて異業種とのコラボレーション等により、住まう人々にとっての豊かな暮らしを提案し、新たな生活価値の創造を目指して参ります。

-----【本件に関するお問い合わせ先】-----

伊藤忠都市開発株式会社 広報室 / 白川・嶋田(TEL:03-6811-0249)

①「クレヴィア小竹向原」

(カテゴリー:住宅・住空間)

概要:「クレヴィア小竹向原」は①地域社会、②居住者という二つのコミュニティに開かれた集合住宅である。外周部分に自主管理歩道を設け従来の街並みになかった歩車分離を実現。更にそこにハナミズキなどの色とりどりの街路樹からなる並木道を創出し、地域に季節の変化を感じさせる。また、敷地内には四季・色彩豊かな緑景を感じられる「センターガーデン」の他に、入居者用の「アーバンファーム(菜園)」を設けた。居住者同士で野菜を育て収穫することができ、居住者間のコミュニティ形成を促進。



クレヴィア小竹向原



Landscape Design

塙 哲夫 Hanawa Tetsuo

〔場ランドスケープデザイン〕代表

大規模プロジェクトということで、エントランスや外構をきちんとつくること、居住者がコミュニティ形成できる場を設けること、そして豊かな緑を計画しました。小竹向原の街で「都市の便利さ」と「自然の豊かさ」をたのしんでください。



実績:THE KOSUGI TOWER



ヤエベニシダレ



ハナミズキ



ジャクナグタイヨウ



トウカエデ



アガパンサス



ヤマボウシ



オウゴンモチノキ



イロハモミジ



サルズベリ

※掲載の植栽計画は変更になる場合があります。また、写真はすべてイメージ写真となります。



GOOD DESIGN
AWARD 2015

【グッドデザイン賞審査委員の評価】

居住者同士の交流を促す自主管理歩道や共同菜園などの設置により、入居者の居住環境の質を高める工夫がなされている。

②「わたしの森 プロジェクト」

(カテゴリー：地域・コミュニティづくり／社会貢献活動)

概要：一時的な交流イベントではなく、「マンション入居前から入居直前、入居後まで継続的なコミュニティ形成支援」を行い、自主性のあるマンションコミュニティの形成を目指す取り組み。①入居前は「長野・東京ガスの森」で植樹体験を通じた、未来の入居者同士のコミュニティ形成支援を行い、②マンション竣工直前には実際に住むマンション敷地内で、入居者同士が協力し合いながら自らの手で植樹を行う事でマンションへの愛着を育むと共にコミュニティ形成を行い、更に③入居後もマンションを舞台に入居者自ら菜園づくりを行い自主的なコミュニティ形成へ繋げていくことを目指す取り組みである。



 GOOD DESIGN AWARD 2015



クレヴィア豊田多摩平の森 RESIDENCE

【グッドデザイン賞審査委員の評価】

似たような取り組みはここ数年いくつも見られるようになってきたが、それ自体いい拡がりを見せていると思えることと、本プロジェクトはそのディテールにまで感度よくまとまり、実際のマンション内の菜園なども継続的な活動につながっているところに総合的な魅力を感じる。

③「官民協働によるコミュニティガーデン」

(カテゴリー：地域・コミュニティづくり／社会貢献活動)

概要：伊藤忠都市開発株式会社が住宅開発に伴う地域貢献、都市緑化推進及び新旧住民交流・コミュニティ形成を目的として、開発地隣接公園を舞台に地域住民及び行政と共に推進した東京都で初となる「官民協働によるコミュニティガーデン活動」。現在、二つの住宅開発プロジェクトにて二つのコミュニティが結成され、また公園美化改修へ向けたワークショップの開催により、地域に「自ら創りあげていく」という当事者意識の形成が図れたことから二年以上活動が継続されている。『他物件でも実現可能なサステナブルな取組み』として、また『住宅開発における今後の地域貢献のあり方』として世広く提唱できる取組み。



クレヴィア南砂



パークフロントテラス亀戸

【グッドデザイン賞審査委員の評価】

同様の取り組みが増える中で、本プロジェクトは官民で取り組んでいるところや、地域住民と行政と一緒に取り組んでいる点、また近隣の公園を利用することで地域の活性化にまでつなげている点はとても汎用性が高く、サステナブル且つ展開性に期待できる。

<グッドデザイン賞について>

公益財団法人日本デザイン振興会が主催するグッドデザイン賞は、豊かさと持続可能性に満ちた生活と産業そして社会の実現を目指し、グッドデザイン賞の理念に基づいた公正な審査をおこない、賞賛すべき優れたデザインを選び、広く推奨する制度です。

この制度は、通商産業省による「グッドデザイン商品選定制度」として1957年に誕生しました。

以来、半世紀以上にわたり活動を続け、今日ではその歴史と規模だけでなく、生活者からの広範な支持を得た制度として、国内外から高い評価を得ています。